PPS (非強化/純)

PPS (非強化/純)とは、スーパーエンジニアリングプラスチックに分類される樹脂の材料です。優れた耐薬品性（ほぼ全ての溶剤に耐性）。

Polyphenylene Sulfide • PPS Unfilled

最終更新：2026/10/30

1.35 g/cm³
比重（密度）

85 MPa
引張強さ

220 °C
最高使用温度

PEEK-ESD・LCP-GF30・PSUとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	PPS (非強化/純) このページ	PEEK-ESD (静電気対策PEEK)	LCP-GF30 (液晶ポリマー)	PSU (ポリスルホン)
引張強さ	85 MPa	90 MPa	190 MPa	70 MPa
最高使用温度	220 °C	250 °C	240 °C	160 °C
密度	1.35 g/cm³	1.4 g/cm³	1.7 g/cm³	1.24 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 優れた耐薬品性（ほぼ全ての溶剤に耐性）
- 高い耐熱性（連続220°C）
- 難燃性（UL94 V-0）
- 寸法安定性良好
- ガラス繊維なしでも高特性

主な用途

- 化学ポンプ部品
- バルブ・継手
- 電気絶縁部品
- 耐熱コーティング

- 耐薬品性が必要な構造部品

選び方

耐薬品性・耐熱性が最優先で、GF強化が不要な用途に。

メリット

- 最高耐薬品性
- 耐熱
- 難燃
- 寸法安定

デメリット

- 脆い
- 衝撃強度低い

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	**220 °C**	—
HDT	**135 °C**	1.8MPa

物理的性質

密度	**1.35 g/cm³**

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

PPS (非強化/純)の密度（比重）は？

PPS (非強化/純)の密度（比重）は1.35 g/cm³です。

PPS (非強化/純)の引張強さは？

PPS (非強化/純)の引張強さは85 MPaです。

PPS (非強化/純)の最高使用温度は？

PPS (非強化/純)の最高使用温度は220 °Cです。

PPS (非強化/純)の主な用途は？

PPS (非強化/純)は、化学ポンプ部品、バルブ・継手、電気絶縁部品などに使われます。